

学長表彰実績（2024年度）

本学では、学生又は本学学生で組織する団体が、学術・芸術・社会・体育・文化活動等の分野において他の模範となる成績を修め又は貢献をし、それが学生又は団体並びに本学の榮譽となるものについて顕彰する学長表彰（学長賞・学長奨励賞）制度を設けています。

（学長賞選考の指針）

- ①他団体から最優秀表彰を受けた個人あるいは団体
- ②全国レベルの文化、体育団体から選抜された個人
- ③予選を経て全国大会に出場し、予選または1回戦を突破した個人あるいは団体。
また、予選を経ないで全国大会に出場した場合は3回戦以上突破した個人あるいは団体。
ただし、学年を限定する全国大会は対象外とする。また、段級位制などのクラス分けがある全国大会については、上位クラスのみを対象とする。
- ④ボランティア活動やユニークな活動が社会的に極めて高く認知ないし評価された個人あるいは団体。
ただし、当該年度以前から継続する活動を対象とすることもあり得る
- ⑤学長奨励賞を受けた後、更に顕著な成績あるいは貢献をした個人あるいは団体
- ⑥その他学生委員会において、学長賞候補者として推薦することが適切であると決した個人あるいは団体

1. 学長賞

（団体）

NO	団体名	受賞理由
1	軟式庭球部	第46回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会(5月1日～5月3日)において5位入賞し、全国大会の出場権を獲得。第78回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会(9月14日～9月15日)に2回戦から出場し、2回戦突破。
2	テコンドー部	第36回全日本学生テコンドー選手権大会(12月1日)に出場(予選なし)。男子団体マツソギの部において、2回戦突破し、準優勝。

（個人）

NO	受賞理由
1	第26回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会(5月1日～5月5日)男子の部において3位入賞し、全国大会の出場権を獲得。第66回全日本学生ソフトテニス選手権大会(9月13日)男子シングルの部に出場し、1回戦突破。
2	第3回東広島市陸上競技選手権大会(8月4日)において400mの標準記録を突破し、全国大会の出場権を獲得。第21回田島直人記念陸上競技大会(日本グランプリシリーズ第15戦山口大会グレード2)(10月20日)400mにおいて、4位入賞。
3	第43回関西学生スカッシュ選手権大会(8月10日～8月12日)男子の部においてベスト8に入り、全国大会の出場権を獲得。第51回全日本スカッシュ選手権(11月30日～12月3日)男子の部に2回戦から出場し、2回戦突破。

※注：個人名は個人情報保護の観点から省略

2. 学長奨励賞

5団体31個人を表彰する。

3. 表彰（5年間）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学長賞	団体	0	2	3	2	2
	個人	3	6	11	6	3
学長奨励賞	団体	0	2	5	2	5
	個人	19	11	23	11	31
計		7	22	21	42	41